

アトリエ Emu

宮崎県児湯郡木城町椎木5010-1
TEL/FAX.0983-32-2420
http://emu5010.com/

対談 代表 インタビューー
三隅 裕子 × 萩原 流行
[俳優]



INTERVIEW
YUKO MISUMI × NAGARE HAGIWARA

長年の経験、人の出会いから生まれた、人生最期の門出を彩る『ラストドレス』を提案

萩原 本日は「人生最期に着用する服『ラストドレス』の開発・販売」で、宮崎県の経営革新計画の承認を受けた婦人服販売の「アトリエEmu」さんを訪ねました。まずはお店を開かれるまでの歩みをお聞かせ下さい。

三隅 私は鹿児島県に生まれ、小学生の時から宮崎県日向市に住み、高校卒業後、東京の服飾専門学校を経て、国家技能検定洋裁技能士補の資格を取得しました。その後、母が経営する婦人服店を受け継ぎ八年間代表を務めました。結婚を経て、平成十一年に木城町に新店を構えたことを機に経験を生かす形で当店を始めました。

萩原 インポート商品や婦人服、ジュエリーなどの他、世界的な版画家、河辺一周先生のアートプリント(版画)も扱われていますね。

三隅 お客様は三十代〜六十代の女性を中心に、地元を始め延岡市や日向市、宮崎市など広範囲からお越し下さっています。

萩原 では、人生最期の門出の葬儀で着用する『ラストドレス』のお話を。

三隅 この世に生を受けて沢山の方との出会いから別れの瞬間、家族や友人に無言の自分が一番きれいな姿で…と考えた時、元氣うちに準備しておくのがいいと十五年前に思ったのが始まりです。「ラストドレス」が普通のドレスと異なる点は、硬直して寝ている状態でも美しく着用できる特殊縫製で、素材についても火葬に支障のないものを選定しています。洋装各種と和装の男女共に承り、「ラストドレス」について男性用の洋装も開発中です。

萩原 開発には色々な経緯があったとか。
三隅 私は五人姉妹の末っ子で特に一つ上の姉と仲が良く、その姉がブライダル関係の仕

事をしていて関係で私もドレスを見る機会に恵まれ、「葬儀にドレスを着られたらいいよね」「素敵なドレスを生前に作っておけば…」と、そのことを姉に言うと一緒に手掛けようという話になり、死に装束のことを「ラストドレス」と名付けて色やデザインのこと毎日話が楽しく話が弾みました。ところが、その矢先に姉が肺の病気(過誤腫性肺脈間筋腫症)を患い、「臓器移植をしなければ二十四カ月しか生きられない」と医師から告げられたのです。姉が「ラストドレスの第一号を私に作って」とポツリと言いましたが、現実を受け止められず、とても作る気にはなれません。姉はそれから毎日笑顔で前向きでした。ただ、七夕の願いもむなしく平成十四年七月九日に余命を待たず

他界。数年は落ち込む日々でしたが、ある日、姉が我が家の庭に植えてくれた桜を眺めていたら、なぜか勇気つけられ、「私は生かされているんだ…」と気持ちが楽に。そして姉との約束を果たそうとドレスの製作を始めました。

萩原 そして完成した『ラストドレス』を昨年七月九日に「アルカンシエル」というコンサートイベントで披露されたそうです。

三隅 当日は姉の命日で、河辺一周先生が素敵な版画を展示して下さい、コンサートでは姉にさせてあげる気持ちで『風』『水』『光』のテーマで作上げたドレスを発表しました。また、これまでのことをよく理解して下さっている木城町在住のピアニスト西岡幹洋さんが姉への思いを汲んで『ラストドレス』に寄せる三章の詩と音楽を作曲、コンサートで演奏して下さいました。

萩原 皆様の反響はいかがでしたか。
三隅 会場には二〇〇名の方がいらして下さい

りお客様からのアンケートには、喜びの声としてそれぞれに様々なことを重ね合わせた貴重な感想を頂くことができました。実は今年二月に、もう一人の姉を子宮体癌で亡くし、この時もドレスを着せてあげることができませんでした。病気治療中にコンサートのことを心待ちにしていた姉の為にと懸命に開催の準備を進めた経緯もありました。姉達を病気で亡くした悲しみがなければ『ラストドレス』の製作と『アルカンシエル』の開催はできなかったと思います。また、その後、鹿児島県で時給棺を手掛ける(株)アリマツ・有園虎男代表が『ラストドレス』を扱って下さることに、洋装のドレスに合わせた棺という観点から、河辺一周先生と有園代表の共同開発による『綴る』も製作される運びとなりました。

萩原 そして今年十一月四日には第二回「アルカンシエル」を開かれたそうです。三隅 癌で亡くなった姉が大好きだった「スイトビー」の花をイメージしたドレスを製作し、河辺先生のシルクアートと棺、そして有園代表の時給棺も展示夢のような空間を演出して頂きました。コンサートは音楽葬をイメージし、西岡幹洋さんの『虹』(作詞作曲)のピアノ演奏から始まり、オーボエとチェロの素晴らしい演奏を披露して頂き、大盛況のイベントとなりました。

萩原 最後に今後の展望をお願いします。
三隅 今まで支え応援して下さい下さった方々のためにも人生最期の衣装の製作について安心してご満足頂ける提案をしていきます。そして当店を「あそこに行けば癒され元氣になって帰れる」と皆様が寄り合える場にできれば幸いです。

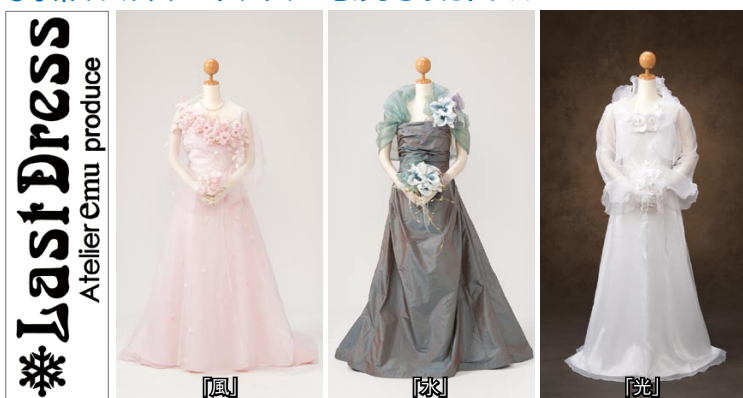
萩原 代表の熱い思いが伝わるお話でした。更なるご活躍を期待しています。

① INFORMATION

● 専門的な配慮を施した、人生最期の門出として着用する『ラストドレス』
2012年11月第2回「アルカンシエル」コンサートで初公開された棺とドレス



● 手染めシルクアートフラワーをあしらったドレス



Last Dress
Atelier Emu produce